

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 ステラ		公表日		2026年 2月 27日	
環境・整備・運営	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
		2	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	2	・教材としては使用できていない ・訪問先に教材についての提案はしており、作成についても協力している。	・子どもに応じて、必要に応じて考えていきたい。
業務改善	3	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・訪問の回数の調整を毎月行っている。	・訪問支援のニーズが増えているが、職員の不足は否めない。訪問支援員のニーズに応じた調整を今後も行っていきたい。	
	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・職員全員が参画できるようにしている。 ・日々の職員の口頭でのやりとりは大切にしている。	・今後も引き続き行っていく。	
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者からの意見については、職員間でも共有して改善につなげている。	・今後も引き続き行っていく。	
	6	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・普段のやり取りやミーティングの中で、職員が意見を出しあうようにしている。	・訪問支援の業務の在り方など、職員がやりよくしていくために課題等については日々考えながら、スキルアップを図っていく。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・法人内でのサービス向上委員会の開催。 ・委員会に参加し、自事業所を含めた各部署のヒヤリハットや苦情等について共有している。	・サービス向上委員会の中の第三者の方からの助言等については職員間でも共有しているが、そのことについての各職員の意識の持ち方や普段の支援にどのようにいかしていくのか、職員間でも共有していきたい。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・研修の機会があり、法人内でも開催されている。 ・研修の機会については、特定の職員だけが受けるのではなく、いろんな職員が受けられるようにその都度調整している。 ・受けた研修については、職員間でも共有する機会を設けており、参加できていない職員にも内容の周知ができています。	・研修の機会がある。勤務体制上、全員が受講することは困難であるが、内容について共有する場を今後も引き続き工夫していきたい。	
	9	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6		・面談の中で子どもや保護者のニーズや課題を聞き取った上で、支援計画に反映するようにしている。	・それぞれの子どもの課題をしっかりと把握するためにも、保護者との面談での情報だけでなく、日々の関わりの中で、その部分について今後も考えていく。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援会議を開催する中で、各職員からの意見や考えも聞いた中で作成している。 ・定期的に課題や成長した点を振り返る機会がある。 ・子ども園との情報共有も行いながら、支援計画にもいかしている。 ・訪問支援員間でモニタリングを行っている。	・今後も職員間での情報共有を図っていくと共に、それぞれの意見や考えも大切にしながら、支援計画を作成していく。	
	11	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		・訪問先施設との連携も大切にし、支援計画にいかしている。 ・訪問の際には、クラスの先生からの聞き取りを行っている。	・今後も、訪問先の先生の考えや意向も踏まえながら、支援計画を作成していく。	
	12	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員全体で共有はしている。 ・各自がいつでも見ることができる。 ・職員が共有できるように環境が整っており、内容についてのアドバイスや工夫も話をしやすい。	・今後も引き続き行っていく。支援計画に共有を通して計画に沿った支援を行っていく。	
	13	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・外部の講師の先生の研修（勉強会）があり、客観的に見ることでいい。	・最新の発達検査の検査結果は共有している。今後はインフォーマルなアセスメントも行っていきたい。	
	14	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・面談を通して、子どもの成長や課題について把握するようにしている。 ・支援内容は、ガイドラインに沿って作成されている。それぞれの項目についても設定して作成されている。	・ガイドラインについて、再確認しながら有効な支援につなげていきたい。	
	15	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員全体で共有はしている。	・振り返りの機会も持てるようにしていくと共に、日々の訪問の中での職員の気づき等について、その都度発信できるようにスキルアップを図っていく。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・十分にできておらず、ミーティングの時間を持つようになっている。 ・その日ごとではないが、月単位で分担について確認している。	・職員の勤務体制の都合上、日々の振り返りは困難であるため、定期的に訪問支援員の会議を持ち共有していきたい。	
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・十分にできておらず、ミーティングの時間を持つようになっている。 ・訪問時の気づきなどを療育の中でもいかに共有している。 ・個々の職員同士が訪問した時の様子を口頭でやり取りすることはある。 ・職員の勤務時間のちがいもあり、翌日に行うようになっている。	・支援の内容や振り返りなど、職員全体でできるように時間の確保は課題。		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援先の理念や支援手法は尊重している。</li> <li>・訪問支援員の考えを押し付けることはしていない。</li> <li>・その中で、訪問先の職員との連携や情報共有を大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、訪問先施設の意向等も尊重しながら、訪問支援の視点からの助言等をしていきたい。</li> </ul>
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書を作成し、次回の支援につなげている。</li> <li>・担当の先生からもお話を伺い、日々の生活の中での変化を支援にいかすことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日に記録については訪問支援員間で読み合わせて内容について共有しているため、今後も引き続き支援につなげていきたい。</li> </ul>
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なモニタリングは行っており、職員からの意見も聞き、支援計画の見直しにつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適切な見直しを行っていく。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議が開催される際には、参加するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も相談支援事業所との連携、情報共有を大切にしていきたい。</li> </ul>
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、連携を取れる体制は取れている。</li> <li>・学校への訪問支援にもつながっている。</li> <li>・こども園や診療所が法人内にもあり、連携できる体制は取れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関係機関との連携を大切にしたい。</li> </ul>
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートブックを活用し、就学時の移行の際に、子どもの情報を共有してもらいやすいようにしている。</li> <li>・サポートブックへの記入についても必要であれば行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もサポートブックの活用とともに訪問時にも十分な情報共有と相互理解を行ってきたい。</li> </ul>
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修には必要に応じて参加するようにしている。</li> <li>・研修はスキルアップの機会にもなるため、積極的に活用はしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も参加スキルアップしていきたい。</li> </ul>
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川区の子ども支援部会への参加。</li> <li>・参加した職員から内容の共有をしてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して参加することで、今後も他事業所との情報共有を大切にしたい。</li> </ul>
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書を作成して、保護者の方へお渡ししている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き行ってきたい。</li> </ul>
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して研修の案内をしている。</li> <li>・ペアレントトレーニングに参加された方もおり、保護者の方にとっても学びの機会になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の内容や実施の仕方については、再考してもいいと思う。</li> </ul>
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を取って、丁寧に説明を行っている。</li> <li>・支援プログラムについてもホームページに掲載し、いつでも見られるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も丁寧な説明を心がけていく。</li> </ul>
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先施設に対して、趣旨や目的についての説明は行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も新たに増える保育所や学校があれば、その都度、丁寧に説明していく。</li> </ul>
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談の際に聞き取るようにしている。</li> <li>・職員間でも共有を行い、現場での支援につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も子どもや保護者の意向、訪問先施設の意向等も確認しながら支援計画は作成していきたい。</li> </ul>
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの保護者に対しても、支援の内容は説明して同意を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も丁寧な説明を心がけていく。</li> </ul>
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて面談の機会を設けたり、助言を行ったりしている。</li> <li>・面談の内容については、職員間で共有し、一緒に考えるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も必要に応じて面談の機会を持ち、保護者の悩み、相談等に対応できるようにしていく。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会は開催している。</li> <li>・ペアレントトレーニングを行い、そこでの交流の機会はできた。</li> <li>・保護者会の中では、保護者同士が交流する時間も設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻度や内容については、保護者のニーズも踏まえて、今後も考えていく。</li> </ul>
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情については責任者に報告し、速やかに対応するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も職員間でも情報共有を行い、改善につなげていく。</li> </ul>
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に通信を発行している。</li> <li>・適宜、連絡事項については、連絡アプリを通して配信し、お知らせをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容については工夫しながら、その都度考えていく。</li> <li>・頻度等について検討していく。</li> </ul>
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵付きロッカーを使用し、管理には最大限気をつけている。</li> <li>・イニシャルでの表記をし、個人が特定されないようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、個人情報の取り扱いについては十分に注意していく。</li> </ul>
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードや写真などの視覚支援を活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も子どもたち一人ひとりにあったものを考え、有効なものがあれば実践していく。</li> </ul>	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先からの相談等があれば、職員間でも共有し、一緒に考えて対応するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もその都度、相談等があった際には聞き、一緒に考えていく姿勢は大切にしたい。</li> </ul>

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	1	・訪問した際には、先生と子どもの様子等を含めて、情報共有を行っている。 ・報告書を通して、子どもの様子を共有している。	・訪問先のご都合もあるため、情報共有はしているが、短時間での共有となる場合が多く、後日改めてお話しをうかがうこともある。別の時間を設定するなど工夫していきたい。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		・報告書の作成を行っている。	・今後も保護者にわかりやすいように丁寧な記録を心掛けていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵付きロッカーを使用し、管理には最大限気をつけている。 ・イニシャルでの表記をし、個人が特定されないようにしている。	・引き続き、個人情報の取り扱いについては十分に注意していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		・訪問先からの相談等があれば、職員間でも共有し、対応できるようにしている。	・信頼関係の構築は今後も大切にし、日々のやり取りを丁寧に行っていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルは作成して、備え付けている。 ・訓練についても、適宜行っている。	・必要に応じて、マニュアルの見直しは行っていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全面には日々注意をしながら支援をしている。	・今後もヒヤリハットを出しあい、安全面についての意識の統一を図っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットについては職員間でも共有し、防止策を一緒に考えている。	・今後もヒヤリハットについて職員間で十分に検討し、意識向上を図っていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・定期的に研修の機会は設けている。	・今後も定期的な研修を実施し、職員の意識の向上を図っていく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	・保護者にも丁寧に説明し、了解を得ている。	・今後も保護者に対しては事前に説明を丁寧に行っていくと共に、現場での支援の仕方について考えていく。